



文政小

第13号

学校便り
文責
生田 文明

最後まで なかまと力を合わせる 運動会



二十九日の運動会に向け、九日から本格的に練習が始まりました。

今年のテーマは、標記のようになり、九日の児童集会では、全児童で、テーマを大きな声で読み上げ、児童会代表が、「しっかりと練習に励み、心に残る運動会にしたい。」と力強く宣言しました。

続けて、赤団・白団に分かれ結団式を行い、各応援団員の自己紹介、かけ声・応援歌の練習が行われました。

また、翌日からは、朝の始業前や昼休みに、子供たちが自主的にリレー等の練習をする姿がありました。運動会に向けた子供たちの意気込みが、伝わってきました。

来週からは、開閉式等の全体練習も始まります。一人一人が力を出し切り、大会テーマのごとく、日々の練習から大会当日まで、なかまと力を合わせる運動会にしていきたいと思います。

点字について学ぼう

三日、八代市点訳ボランティア虹の会及び市社会福祉協議会から七名の方のご協力を得て、四年生は点字についての学びを深めました。

当日は、児童一人一人、点字器や点字用紙を用いて、五十音や濁音などを点字で表す練習を行いました。最後に、練習したことを生かして、自分の点字名刺をつくりました。

実際に点字を打つ、点字を読む体験をとおして、視覚に障がいのある方々の思いや点字の大切さについて理解を深める機会となったようです。みんなが暮らしやすい社会にするために、他者の立場に立って気づき、考え、行動できる人にぜひなりましょう。そのことに気づき、考えるよい機会となりました。



おしえて 青年海外協力隊

三日、五・六年生は、国際理解教育・キャリア教育の一環として、JICA 国際協力推進員の赤星さん、及び青年海外協力隊としてスリランカの養護施設や特別支援学校にケースワーカーとして派遣された本田さんのお話を伺いました。



赤星さんからは、ワークショップをとおして、世界の国々の言葉、そして豊かさ(富と心)について学習しました。違っていて良いもの、違うからこそ良いもの(文化、習慣、生活様式)。違っていないといけないもの、(人権、教育の機会、公衆衛生)等について話していただきました。

また、本田さんからは、スリランカという言葉、生活の様子や学校の様子について話を伺いました。日本との違いに児童は驚いていました。それぞれの国や地域・民族で、言語・文化・宗教・生活様式・習慣等は違いますが、同じ地球に暮らす友人として、互いの違いを認め合い、尊重し合うことこそ、今後ますます大切になっていくことをこれからも学び続けていきたいと思います。

小・中連携の取組

①すまいる大作戦

基本的な生活習慣の確立を目指し、小中連携で毎月取り組んでいます。今週一週間が取り組み期間です。レベルアップを目指して頑張りました。

②学習用具じゅんぴのススメ

4年生の以下では、ご家庭のご協力をお願いいたします。